

VMPL3 壁掛け金具 取扱説明書

(補足 VMX1 横幅拡張金具の説明)

-----84 型以下のフラットテレビで、重量 127kg 以下に適用 -----

このたびは、VMPL3 の壁掛け金具をお買い上げいただきましてありがとうございます。
VMPL3 は、テレビの視野角を +6 度～- 12 度の範囲で傾き調整が出来ます。
ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくご使用ください。
お読みになったあとは大切に保存してください。
VMX1 横幅拡張金具の組み立て説明は、11 頁に記載しております。

お客様へ

本製品の取り付けには、確実な作業が必要となります。必ず、販売店や工事店に依頼して、安全性に十分考慮して確実な取り付けを行って下さい。

販売店様・工事業者様へ

フラットテレビの取り付けには特別の技術が必要ですので、設置の際は取扱説明書をよくご覧の上、設置を行って下さい。
取り付け不備や、取り扱い不備による事故や損傷については、当社では責任を負いません。

1. 安全上のご注意

お使いになる人や他人への危害、物的な損害を未然に防ぐため、必ずお守り頂きたい事項を説明します。
表示内容が無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告 人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。



注意 人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。

お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。



人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。



人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。

警告



工事専門業者以外は取り付け工事を行わないで下さい。
専門業者以外が工事を行うと、工事の不備により落下してけがの原因になります。



取り付け強度は、安全のため十分余裕を取って下さい。
強度が不足すると落下して死亡やけがの原因になります。



荷重に耐えられない場所には取り付けしないで下さい。
強度の弱い壁や平面でなかったり垂直でない壁に取り付けると落下してけがの原因になります。
壁の強度は少なくともフラットテレビの重量の 4 倍の強度に耐える場所が必要です。

⚠ 警告



禁止

VMPL3 壁掛け金具は、27 ～ 84 型の総重量 127kg 以下のプラズマ及び液晶のフラットテレビを、壁面に固定するためのものです。
84 型以上、127kg 以上のフラットテレビの取り付けには絶対使用しないで下さい。
この指定を守らないと、フラットテレビが落下して、けがをしたりテレビが破損する原因となります。



禁止

湿気やほこりの多いところや油煙や湯気の当たる場所や屋外には取り付けないで下さい。
又、エアコンの上や下にテレビを取り付けないで下さい。
テレビに悪影響をあたえたり、火災・感電の原因になります。



組み立ての手順を守り、指定の箇所はすべて確実にネジ止めて下さい。
ネジ山の破損したネジや、さびたネジは絶対使わないで下さい。
指定を守らないとテレビの取り付け後に破損や落下等、思わぬ事故の原因となることがあります。



テレビの取り付けや取り外し作業は 2 人以上で行って下さい。
テレビが落下して、けがをしたりテレビが破損する原因となることがあります。



禁止

取り付け作業の際は、テレビや周辺機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
感電の原因になったり、テレビや周辺機器を破損する恐れがあります。

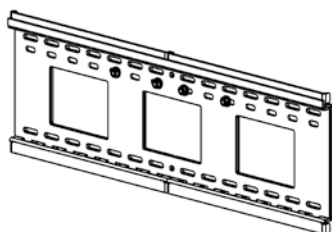


壁掛け金具を壁面に固定するネジは下記の部品表に記載してありますが、壁面の材質や強度によっては不適合な場合がありますので、その場合は市販の適切なネジを使って下さい。

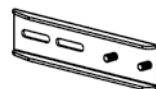
2. 部品一覧表

梱包を開梱し、組み立てる前に次の A 図と B 図の部品名と現品の形を確認しておいて下さい。

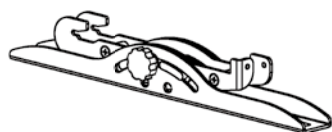
A 図



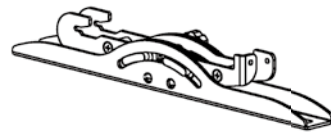
(a) 壁掛け金具本体・・・1 コ



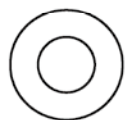
(b) モニターブラケット延長金具・・・4 コ



(c) 右側モニターブラケット・・・1 コ



(d) 左側モニターブラケット・・・1 コ



(e) ナイロンワッシャー・・・8 コ



(f) フランジナット・・・8 コ



(g) 安全ボルト・・・2 コ



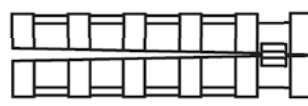
(h) 六角レンチ・・・1 コ



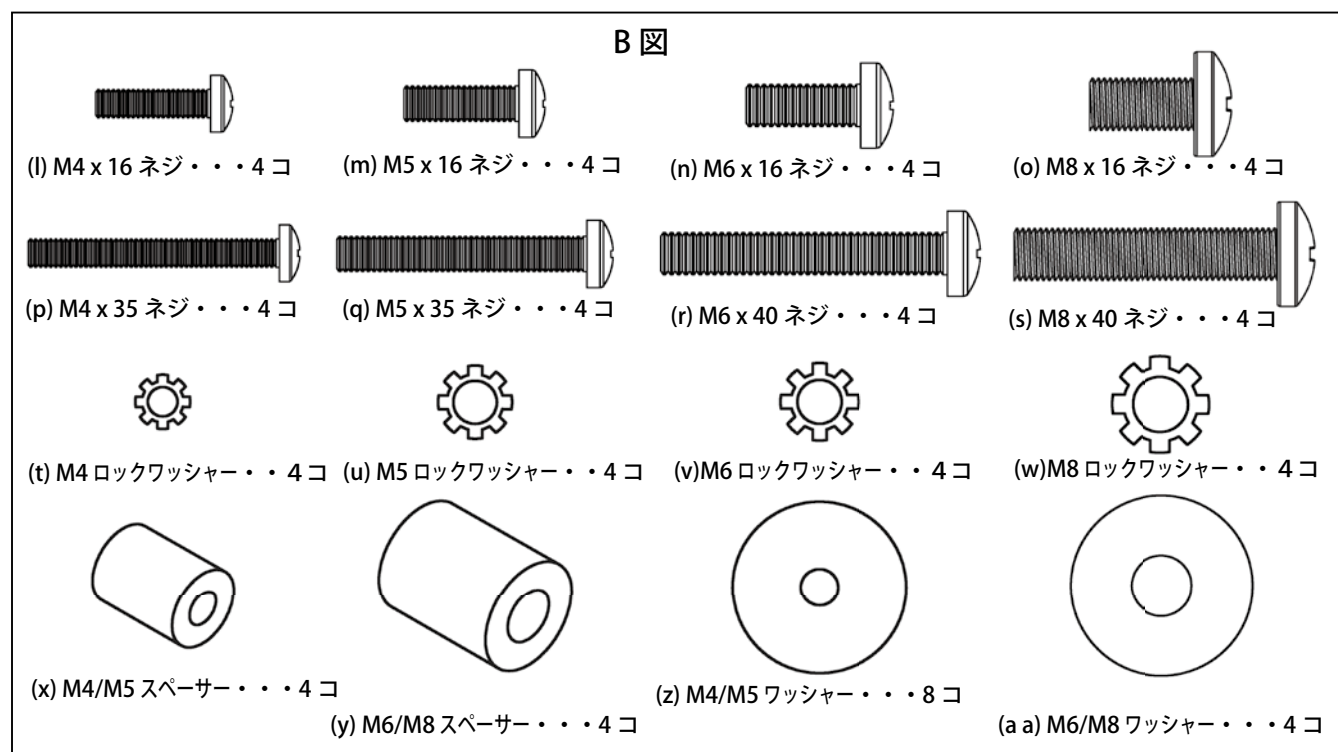
(i) 本体固定ネジ・・・6 コ



(j) 固定ネジ用ワッシャー・・・6 コ



(k) コンクリートアンカー・・・6 コ

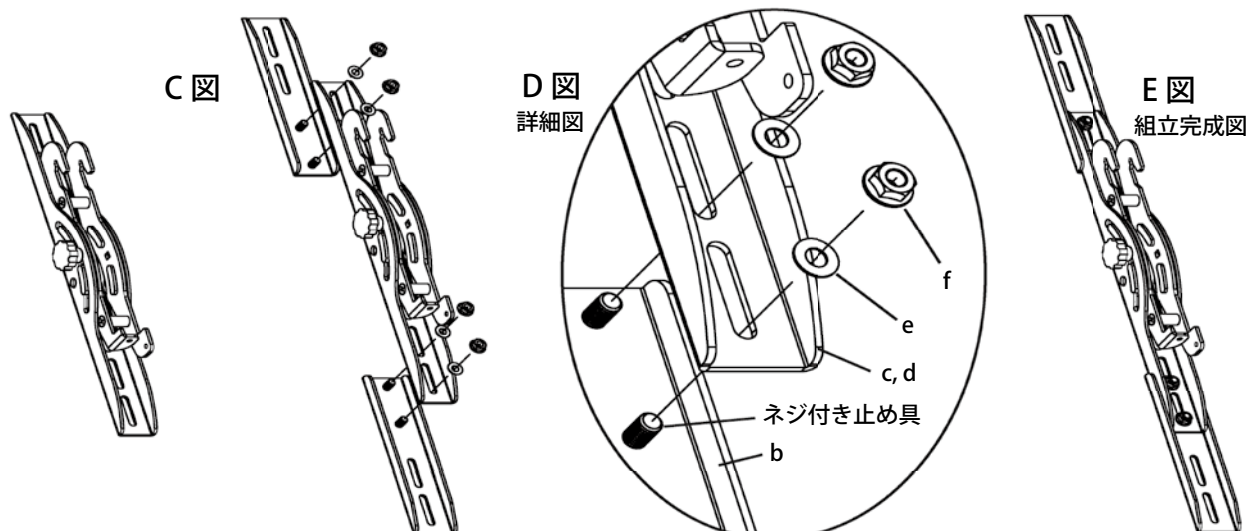


3 組み立てかた

1 モニターブラケットの組み立て

- (1) ご使用になるフラットテレビの背面にモニターブラケット (c, d) を垂直に配置して、テレビの取り付け用の穴位置が、モニターブラケット (c, d) の取り付け穴からはみ出しているかどうか確認してください。
- (2) もしフラットテレビの取り付け用の穴位置が、モニターブラケット (c, d) の寸法内ならば、モニターブラケット延長金具 (b) を取り付ける必要がないので、次の2項に進んでください。
- (3) もしフラットテレビの取り付け用の穴垂直位置が、モニターブラケット (c, d) からはみ出していれば、C 図の様にモニターブラケット延長金具 (b) のネジ付き止め具の位置に、モニターブラケット (c, d) の穴が一致する様に配置します。
- (4) 次に D 図の様にナイロンワッシャー (e) をネジ付き止め具に通し、フランジナット (f) でしっかりと E 図の様に2つの金具を固定します。モニターブラケット延長金具 (b) は、適切な長さに調整可能です。D 図は、1 番延長した状態を示しています。
- (5) 各モニターブラケット延長金具 (b) には、2つのネジ付き止め具が立っていますので、装着の安全性確保の為に必ずこの2つの止め具を用いてモニターブラケット (c, d) をしっかりと固定してください。

注意：モニターブラケット延長金具 (b) は、モニターブラケット (c, d) の上下を対にして、又左右を対にして4つの金具全て使って取り付けして下さい。

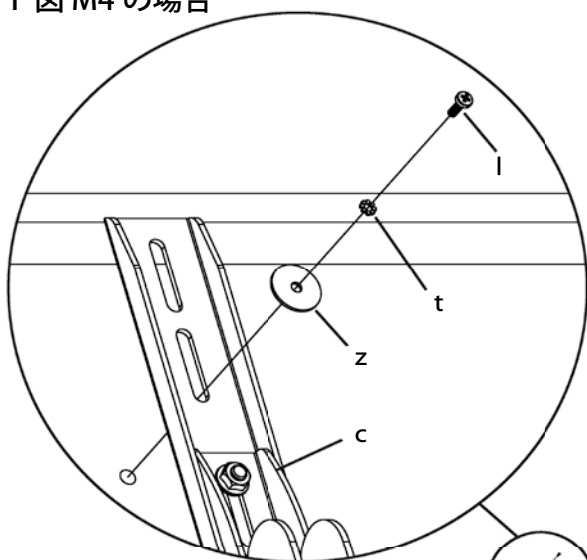


2 背面が平坦なフラットテレビへのブラケット取り付け

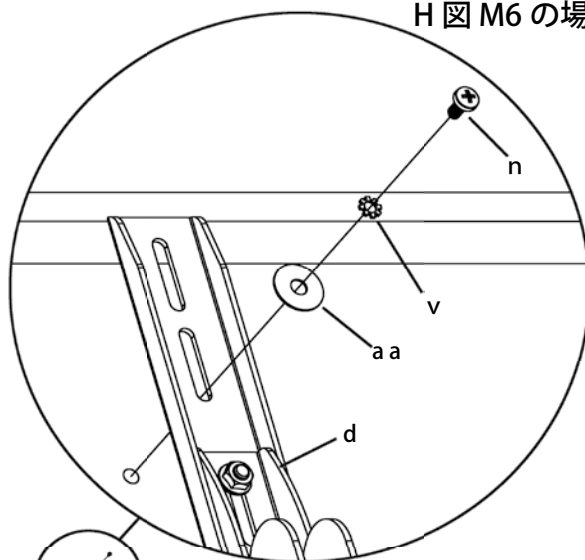
フラットテレビの電源を OFF にし、且つ電源コードがコンセントから抜かれている事を確認して下さい。

- (1) フラットテレビを壁等のしっかりした場所に置きます。
フラットテレビのガラス面にキズが付くので、ガラス面を下にして床などに置かないで下さい。
- (2) フラットテレビの背面に取り付けるモニターブラケット (c, d) の場所を見つけ、そのネジ穴の径を調べます。
M4 ネジ (l)、M5 ネジ (m)、M6 ネジ (n)、M8 ネジ (o) を順番に手で緩くねじ込んで、適合するネジの径を見つけます。
もし、手でネジをねじ込んでいる時に、ネジの先端が何かにぶつかった様に感じた時は、直ちにそれ以上ネジ込むのは止めて下さい。
- (3) モニターブラケット (c, d)、又はモニターブラケット延長金具 (b) は、フラットテレビの後側で、出来るだけテレビの上下の中央部に垂直に配置します。
- (4) 先に調べたネジの径により、F 図、G 図、H 図、I 図の内、該当する図面に従い、ロックワッシャー (t)、(u)、(v)、(w) と、M4/M5 ワッシャー (z) 又は M6/M8 ワッシャー (a a) を使ってフラットテレビにブラケットをしっかりと取り付けます。
- (5) 2つのモニターブラケット又はモニターブラケット延長金具が、テレビに対して垂直に、且つ同じ高さに固定されているかどうかもう一度再確認して下さい。

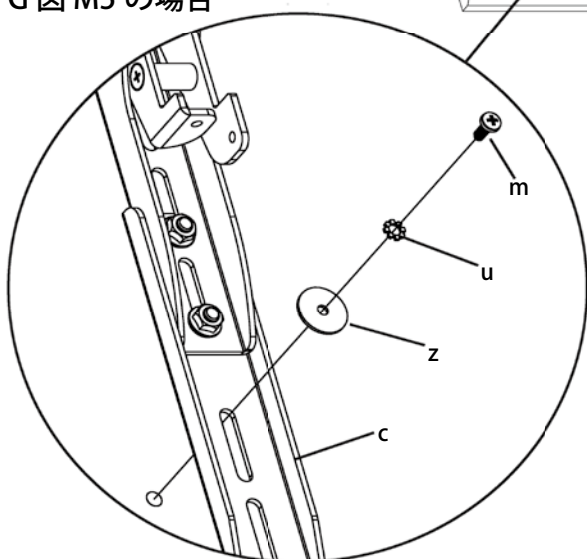
F 図 M4 の場合



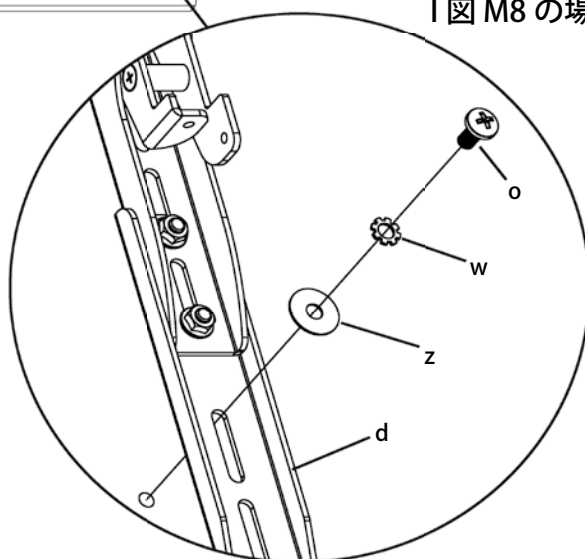
H 図 M6 の場合



G 図 M5 の場合



I 図 M8 の場合



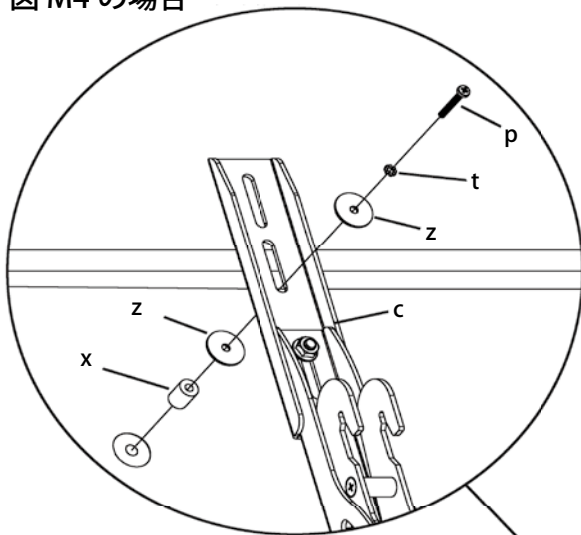
記：該当するネジでモニターブラケット (c, d) がフラットテレビに固定出来たら 4 項に進んでください。

3 背面が曲がっている、又は取付用ネジ部分に窪みがあるフラットテレビへのブラケット取付方法

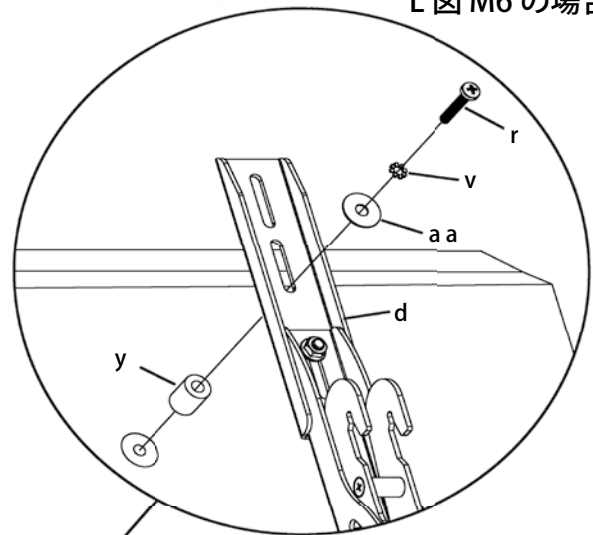
フラットテレビの電源を OFF にし、且つ電源コードがコンセントから抜かれている事を確認して下さい。

- (1) フラットテレビを壁等のしっかりした場所に置きます。
フラットテレビのガラス面にキズが付くので、ガラス面を下にして床などに置かないで下さい。
- (2) フラットテレビの背面に取り付けるモニターブラケット (c, d) の場所を見つけ、そのネジ穴の径を調べます。
M4 ネジ (l)、M5 ネジ (m)、M6 ネジ (n)、M8 ネジ (o) を順番に手で緩くねじ込んで、適合するネジの径を見つけます。
もし、手でネジをねじ込んでいる時に、ネジの先端が何かにぶつかった様に感じた時は、直ちにそれ以上ネジ込むのは止めて下さい。
- (3) モニターブラケット (c, d)、又はモニターブラケット延長金具 (b) は、フラットテレビの後側で、出来るだけテレビの上下の中央部に垂直に配置します。
- (4) 先に調べたネジの径により、J 図、K 図、L 図、M 図の内、該当する図面に従い、ロックワッシャー (t)、(u)、(v)、(w) と、M4/M5 ワッシャー (z) 又は M6/M8 ワッシャー (a a) を使います。更に M4/M5 の場合はスペーサー (x) を、M6/M8 の場合はスペーサー (y) と、M4/M5 の場合のみロックワッシャー (z) を追加してフラットテレビにブラケットをしっかりと取り付けます。
- (5) 2つのモニターブラケット又はモニターブラケット延長金具が、テレビに対して垂直に、且つ同じ高さに固定されているかどうかもう一度再確認して下さい。

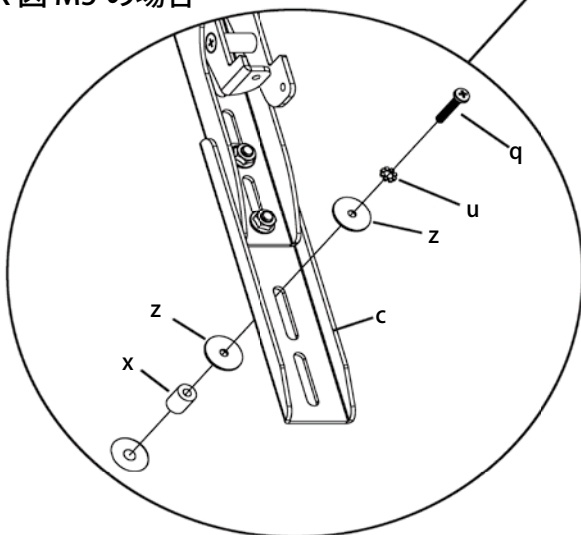
J 図 M4 の場合



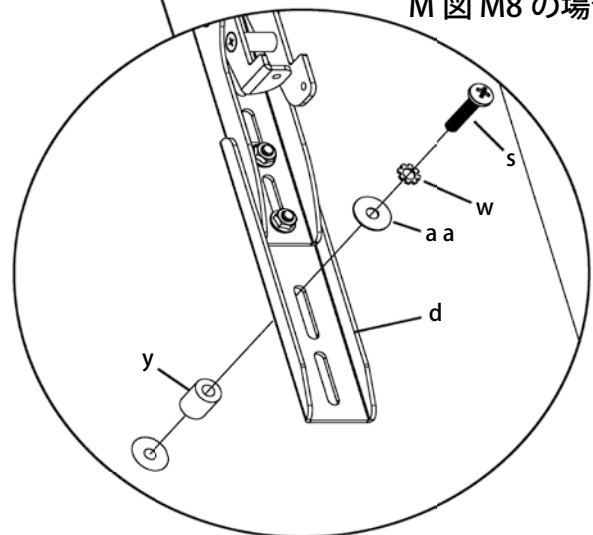
L 図 M6 の場合



K 図 M5 の場合



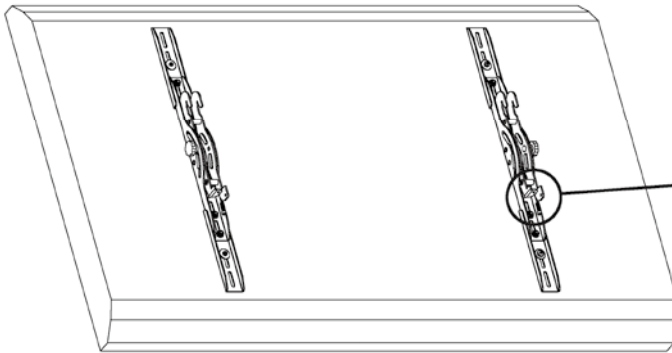
M 図 M8 の場合



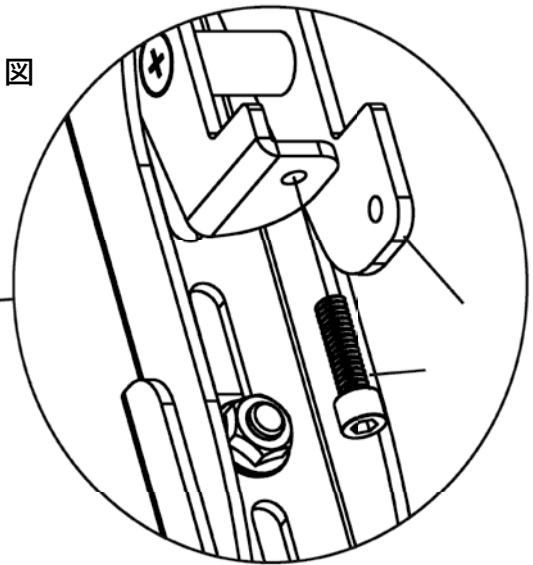
4 安全ボルトの取付方法

- (1) 安全ボルト (g) を次の O 図の様に、モニターブラケット (c, d) の底部に約 6mm 程ねじ込みます。
この安全ボルトは、この組み立ての最後の段階で完全にねじ込んで固定するので、この段階では 6mm 程ねじ込んでおけば十分です。

N 図



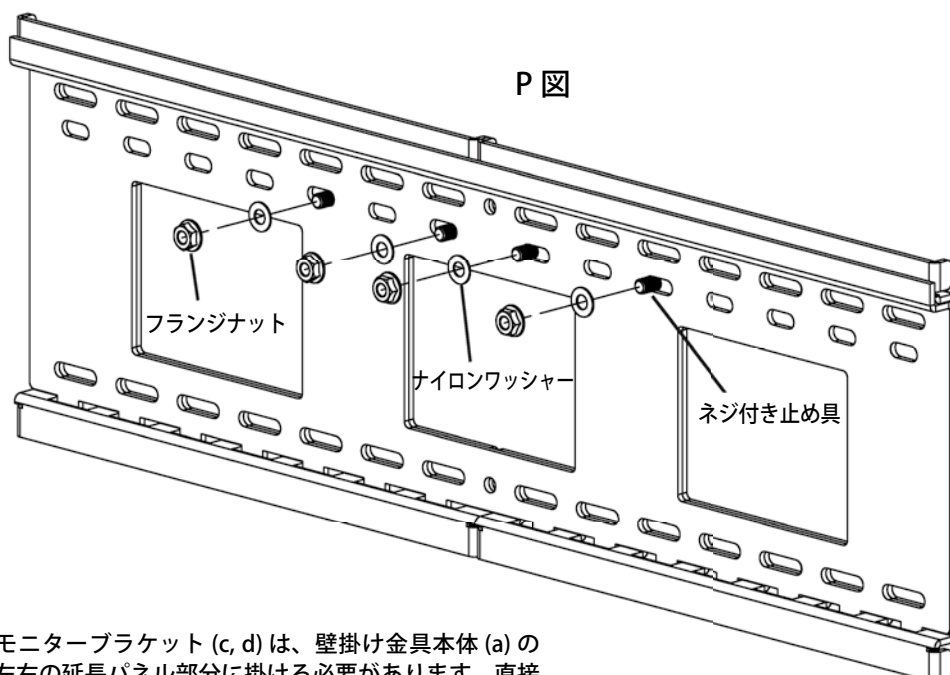
O 図



5 壁掛け金具本体の組み立て ----- その 1

- (1) 壁掛け金具本体 (a) は、横幅を 69cm ～ 107cm まで可変出来ます。次の 3 つ基準をもとにして必要な横幅を決めます。
- (a) フラットテレビの横幅に合わせる (壁掛け金具本体をテレビの横幅より小さくする)
 - (b) テレビのモニターブラケット取り付け間隔 (2 項又は 3 項で取り付けた 2 つのモニターブラケットの間隔より少なくとも 50mm 以上広くして取り付ける。
 - (c) 柱の間隔に合わせる (フラットテレビの重量が 57kg 以上の場合は、3 本の柱にまたがって取り付ける)
この取り付け方法が、一番望ましいので推奨します。
- (2) 壁掛け金具本体 (a) の横幅を調整する場合は、P 図の様にフランジナットとナイロンワッシャーを全て取り外します。

P 図

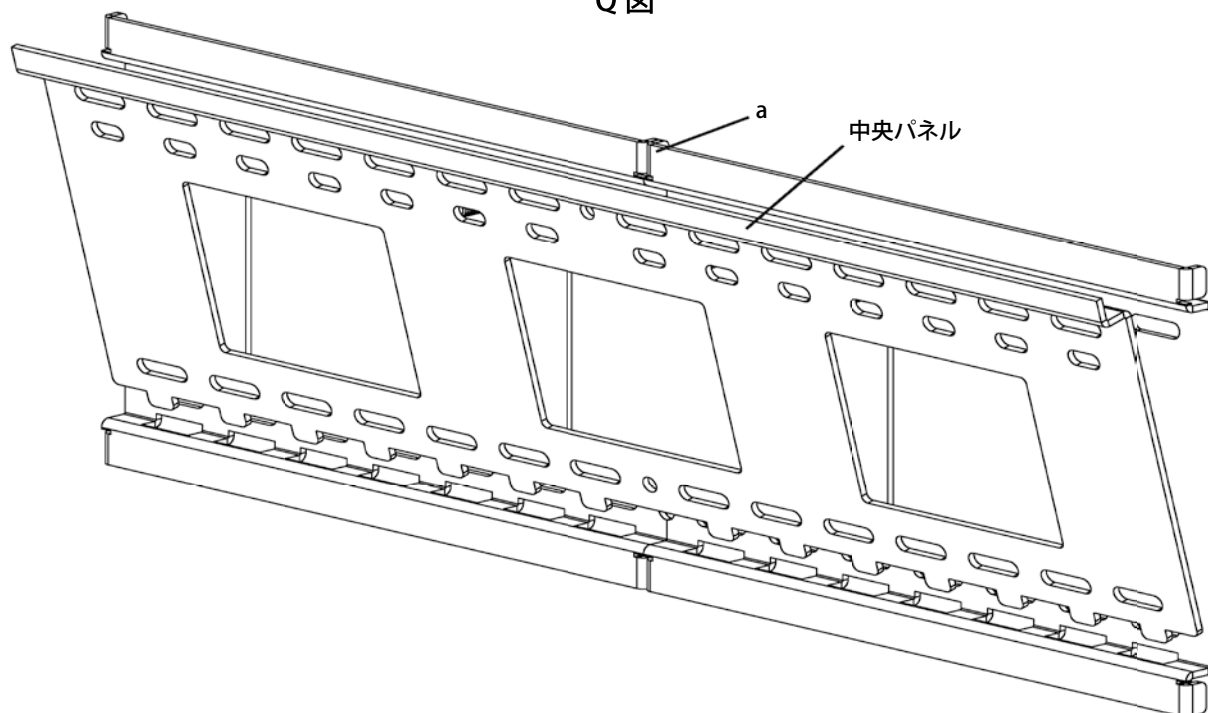


注意：モニターブラケット (c, d) は、壁掛け金具本体 (a) の左右の延長パネル部分に掛ける必要があります。直接壁掛け金具本体の中央部に掛けることは出来ません。

6 壁掛け金具本体の組み立て ----- その2

- (1) 図 Q の様に、壁掛け金具本体 (a) の中央部のパネルを取り外してから、次の7項 壁掛け金具本体の組み立て ----- その3へ進んでください。

Q 図

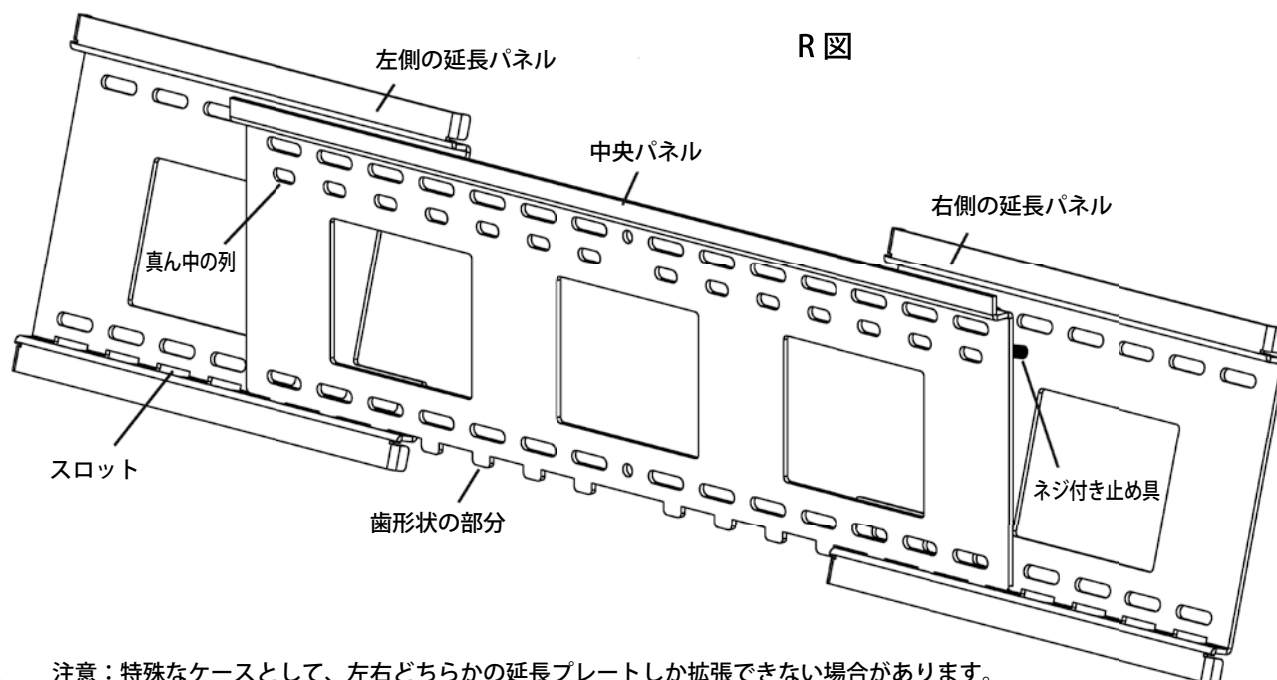


7 壁掛け金具本体の組み立て ----- その3

オプションの VMXA1 をお使いの場合は、この7項を飛ばして、「11 頁の VMXA1 組み立て方法」の説明に進んでください。

- (1) R 図の様に、壁掛け金具本体 (a) の左右の延長パネルを、その両端がご希望の幅となるまで左側と右側の両端を等しく拡げます。
(2) 前項6で取り外した中央パネルの下部にある歯状の部分、を、左右の延長パネルのスロットにはめ込みます。
(3) 延長パネルに付いているネジ付き止め具が、中央パネルの真ん中の列の穴にピッタリと填っていることを確認してください。
次は8項に進んでください。

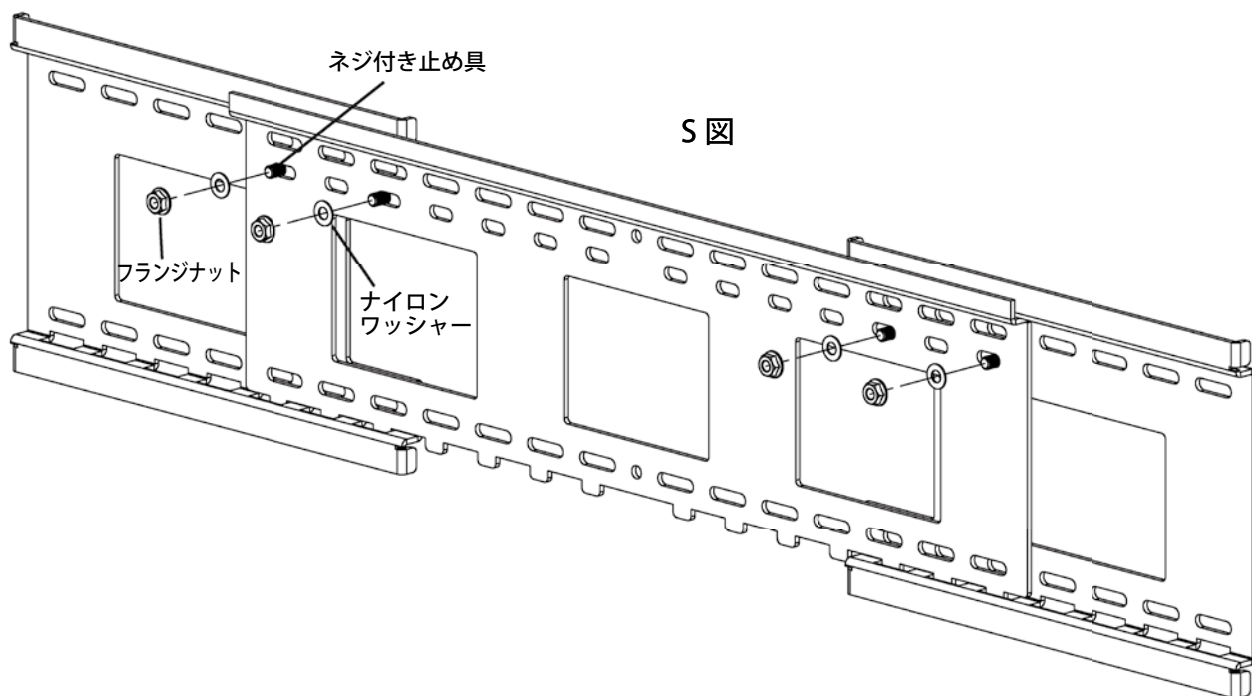
R 図



注意：特殊なケースとして、左右どちらかの延長プレートしか拡張できない場合があります。

8 壁掛け金具本体の組み立て ----- その4

- (1) S図のように、壁掛け金具本体(a)のネジ付き止め具にナイロンワッシャーを通して、中央パネルと左右の延長パネルをフランジナットでしっかりと締め付けて下さい。



9 壁掛け金具本体の壁面への取り付け



注意

壁掛け金具を取り付ける壁面は、最大 127kg のフラットテレビの重量を保持する強度が必要です。各家屋毎に壁面の構造や強度が異なるので、工事業者の皆さんが専門的に壁面を診断の上、最適な工法を決めて工事して下さい。なお、この取り付け金具は、鉄柱や鉄骨には取り付けできません。下記の「木柱及びコンクリート壁」への取り付けの説明は、工事方法の一例として参考にして下さい。

木柱に取り付ける場合

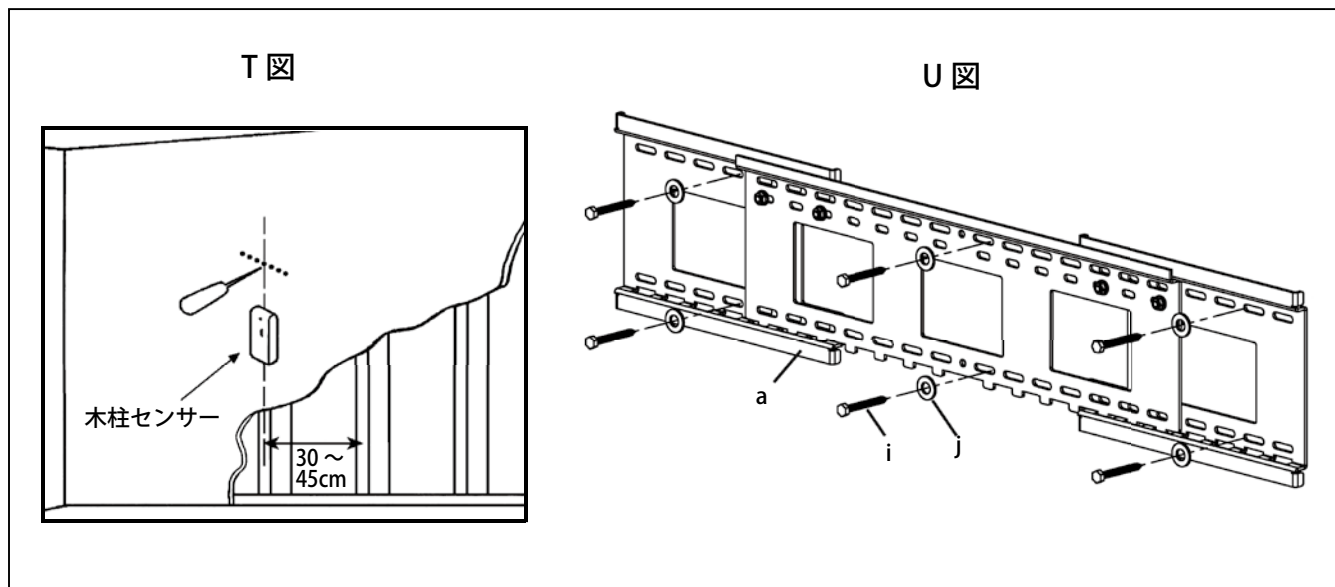
注意：フラットテレビの重量が 55kg 以上の場合は、3 本の木柱に取り付ける様にして下さい。

- (1) 壁掛け金具本体(a)は、少なくとも 30cm 以上離れた 2 本又は 3 本の木柱に取り付けて下さい。
- (2) 高感度の柱位置探知センサーを使って 2～3 本の柱の位置を調べます。次頁の T 図の様に突きぎりか、細い釘で柱の位置を再確認しておいて下さい。
- (3) 4.5mm 径ドリルを用いて、各木柱のご希望の高さの所に深さ 64mm の下穴を開けます。各下穴は木柱の中心線上に開け、且つ各穴は水平でなければなりません。この時 2 目以降の穴位置は、壁掛け金具本体を型紙代わりにして穴位置の印を付けてから 4.5mm のドリルで深さ 64mm の開けて下さい。
- (4) 壁掛け金具本体の中央の平らな部分が壁面に接し、ネジ付き止め具とフランジナットの取り付けられている方が上側となる様に配置します。
- (5) 壁掛け金具本体(a)は、次頁の U 図の様に本体固定ネジ(i)と固定ネジ用ワッシャー(j)で壁面に取り付けます。1 本の木柱当たり、2 本の本体固定ネジと 2 個の固定ネジ用ワッシャーを使って固定します。

レンガ、コンクリート、コンクリートブロックに取り付ける場合

- (1) 壁掛け金具本体(a)を型紙代わりにして、壁面に取り付け用の穴位置に印を付けます。
- (2) 外側の穴は、左右の延長プレートの出来るだけ外側に配置します。スロットの上列に 3 個、下列に 3 個の穴を開けます。これらの穴がお互いに水平であり、2 個の穴の間隔が 15cm 以上離れていることを確認してください。
- (3) 12mm のコンクリート用のビットを用いて、壁を砕いたり壊したりしない様に注意しながら印を付けた位置に深さ 65mm の下穴を開けます。穴はレンガやコンクリートブロック部に開け、絶対モルタル部分に開けないでください。
- (4) コンクリートアンカー(k)をこれら 6 個の穴に挿入します。コンクリートの上のドライウォールや表面に他の物質が貼ってあっても、コンクリートアンカーが、正しくコンクリート面に完全に取り付けられている事を確認します。
- (5) 壁掛け金具本体の中央の平らな部分が壁面に接し、ネジ付き止め具とフランジナットの取り付けられている方が上側となる様に配置します。
- (6) 壁掛け金具本体(a)は、次頁の U 図の様に本体固定ネジ(i)と固定ネジ用ワッシャー(j)で壁面にしっかりと取り付けます。

9 壁掛け金具本体の壁面への取り付け ----- つづき

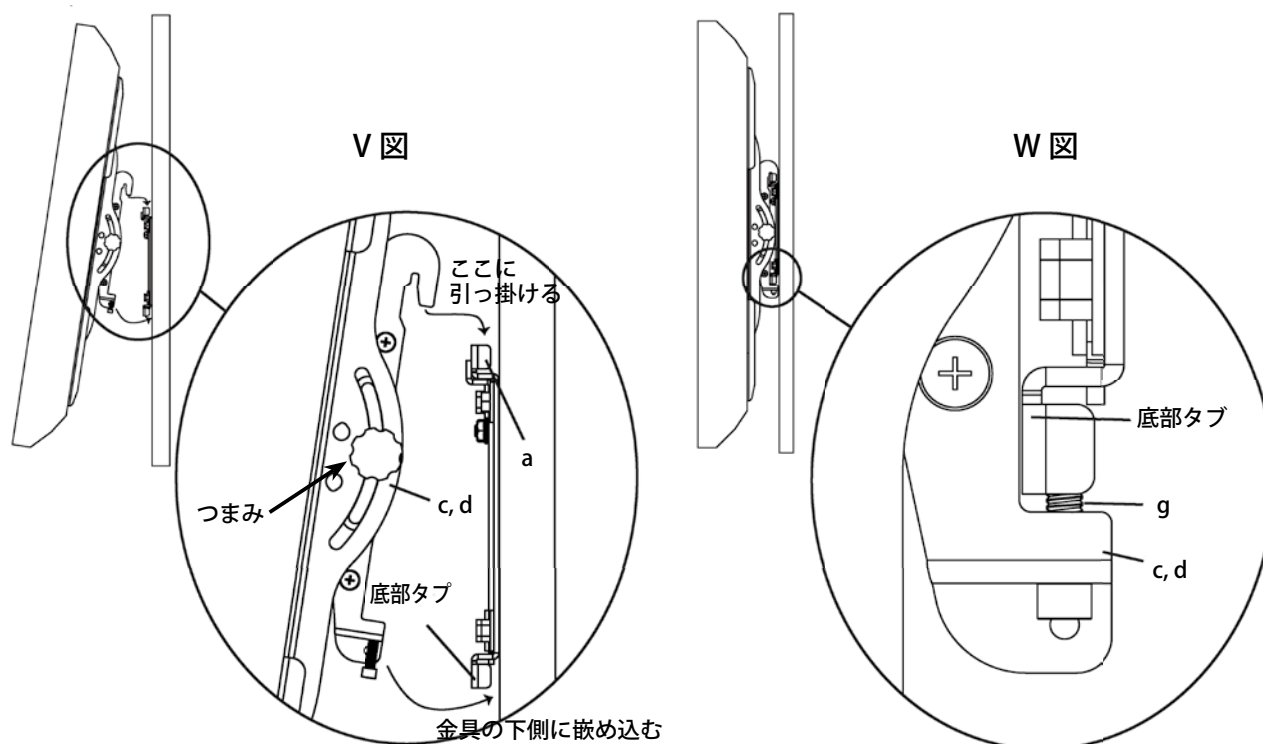


10 フラットテレビの壁面への取り付け

警告：フラットテレビの壁面への取り付けは、2人以上で行って下さい。
テレビが落下して、けがをしたリテレビが破損する原因となることがあります。

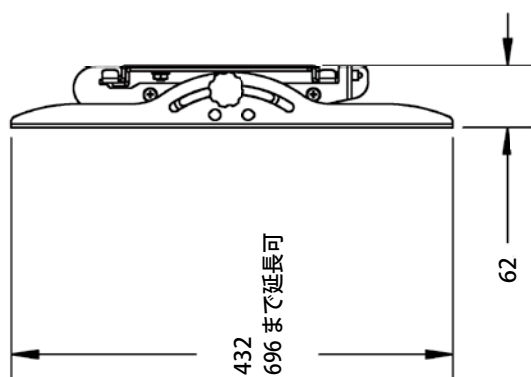
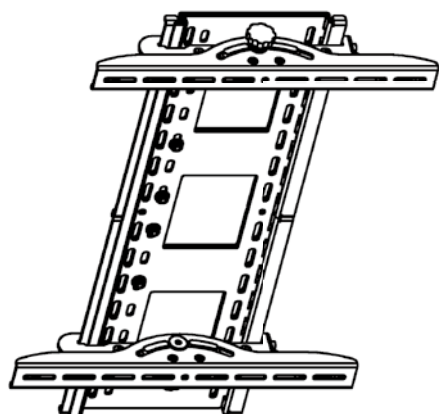
- (1) V図の様に、モニターブラケット (c, d) を壁掛け金具本体 (a) の上端に引っ掛けます。
- (2) 次にモニターブラケット (c, d) の下部を回転させる要領で図の様に壁掛け金具の下側に嵌め込みます。
- (3) 仮留めしていた安全ボルト (g) を六角レンチ (h) でしっかりと締め付けます。
 この様子は W 図の様に、安全ボルトが、壁掛け金具本体の底部にあるタブの後ろ側に配置するようになります。
- (4) 最後にモニターブラケットのつまみを一旦緩めてから、フラットテレビを +6 度～12 度の範囲でお好みの視野角に合わせ
 た後、このつまみの締め付け強度を加減して視野角が自由に变化できる程度に締め付けて下さい。

注意：モニターブラケット (c, d) は、壁掛け金具本体 (a) の左右の延長パネル部分に引っかかる様にします。
絶対中央部のパネルに引っ掛けないで下さい。



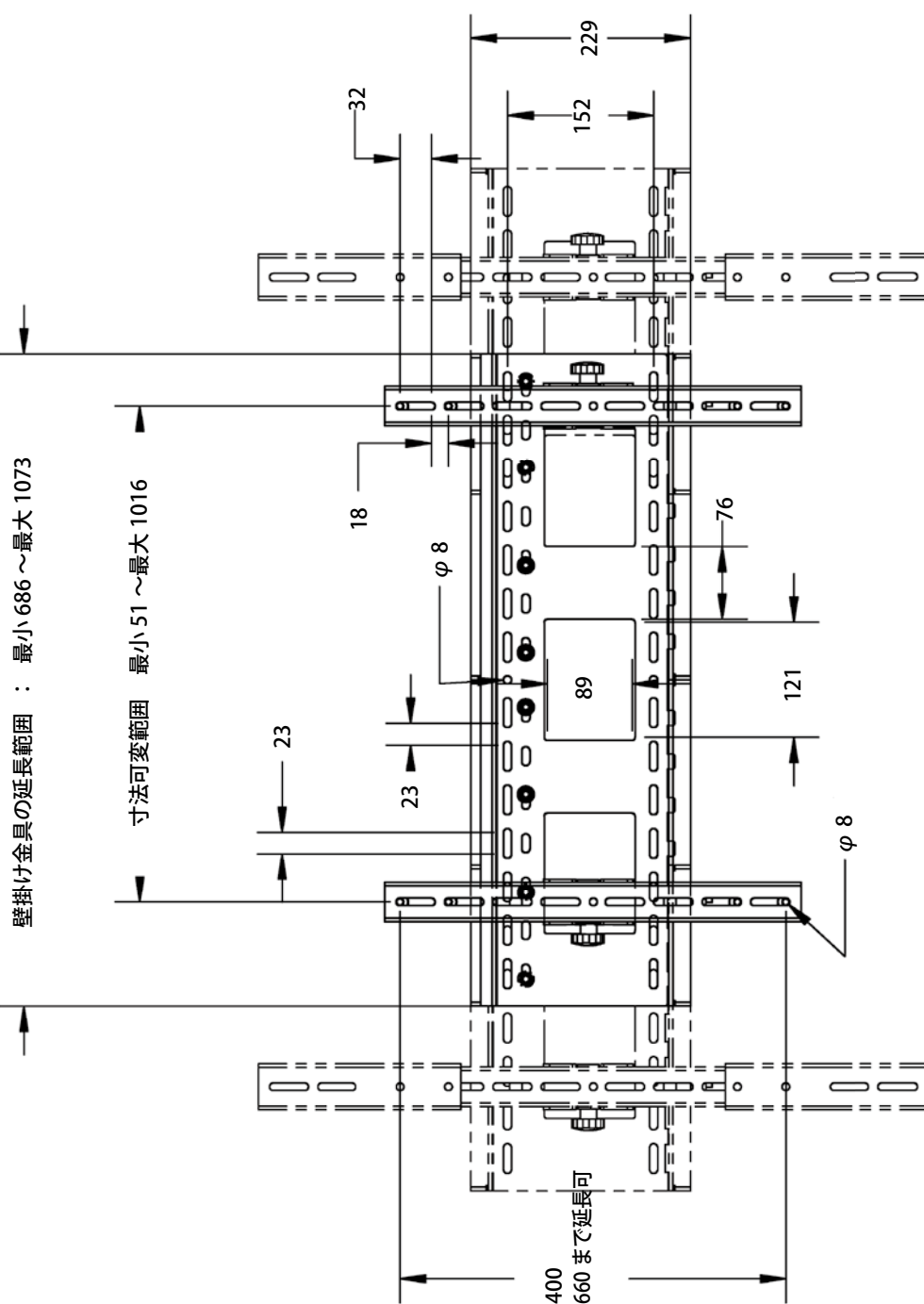
これで組み立て作業は全て完了です。

4 VMPL3 外観図



単位：mm
尺度：任意

X 図



5 VMXA1 の組み立て方法

VMXA1 は、VMPL3 の標準品より、壁掛け金具本体 (a) の横幅を、203mm 拡げて使用する取り付け金具です。

VMXA1 は、VMPL3 の標準品の壁掛け金具本体 (a) の、中央パネル部分を置き換えて使用します。

従って、「7 項の壁掛け金具本体の組み立て ----- その 3」の項目の代わりに、以下の要領で組み立てて下さい。

1. 事前の準備

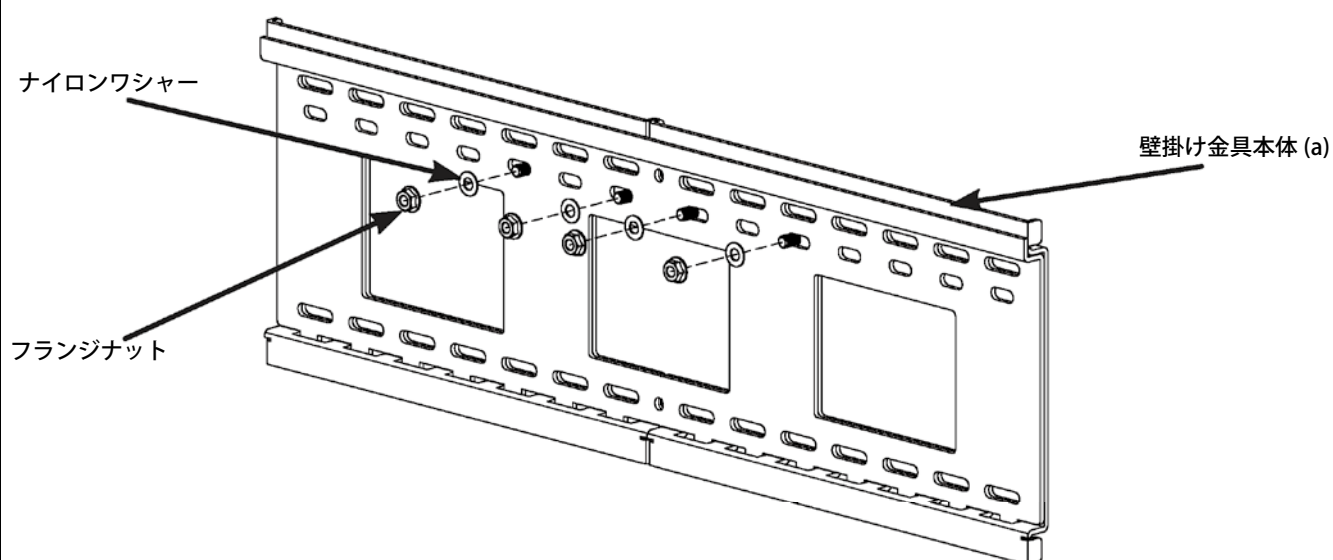
VMXA1 の取り付け可能な幅は、889 ～ 1,270mm ですから、次の基準により最適な横幅を決めます。

1. フラットテレビの横幅（壁掛け金具は、お使いのテレビの横幅より小さくなるようにします）
2. フラットテレビ取り付け用ネジ穴の間隔（壁掛け金具は、テレビの背面にあるネジ穴の間隔より、大きくなるようにします。最小でも 51mm の間隔が、必要です。）
3. 取り付ける柱の間隔（重量 55kg 以上のフラットテレビでは、壁掛け金具を、3 本の柱で保持することを推奨します）

2. 取り付け金具の横幅の調整

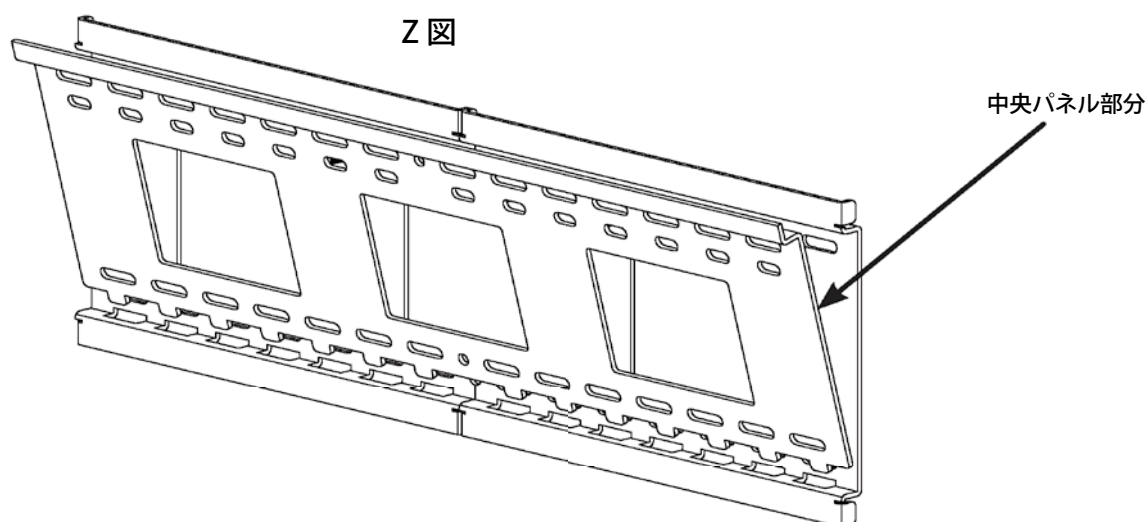
各フランジナットとナイロンワッシャーを、Y 図に示す様に、壁掛け金具本体 (a) から取り外します。

Y 図



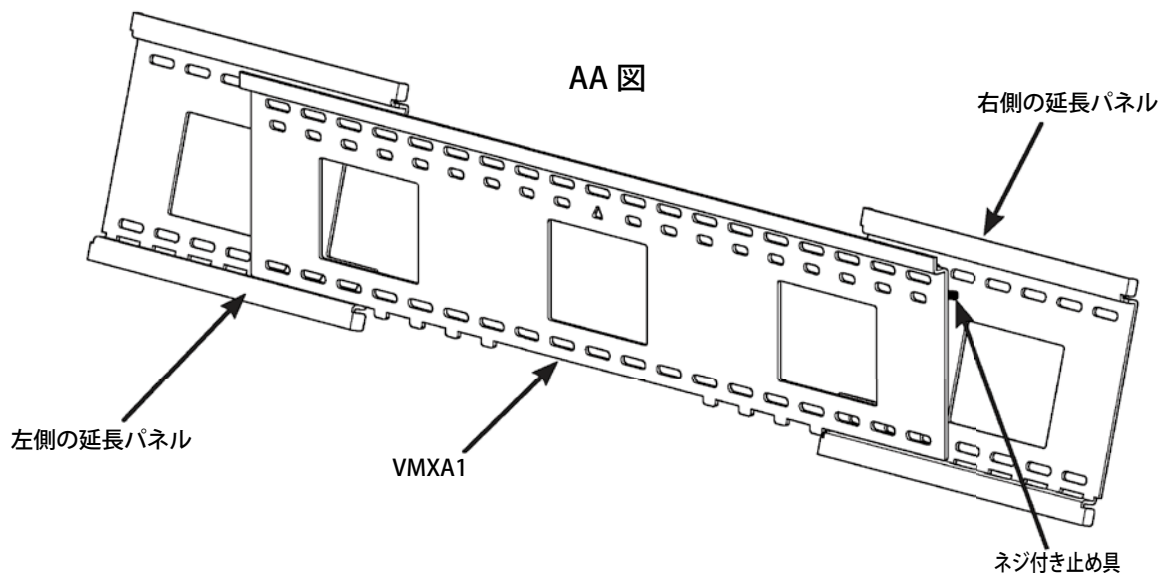
3. 中央パネル部分を、Z 図に示す様に、壁掛け金具本体 (a) から取り外します。

Z 図

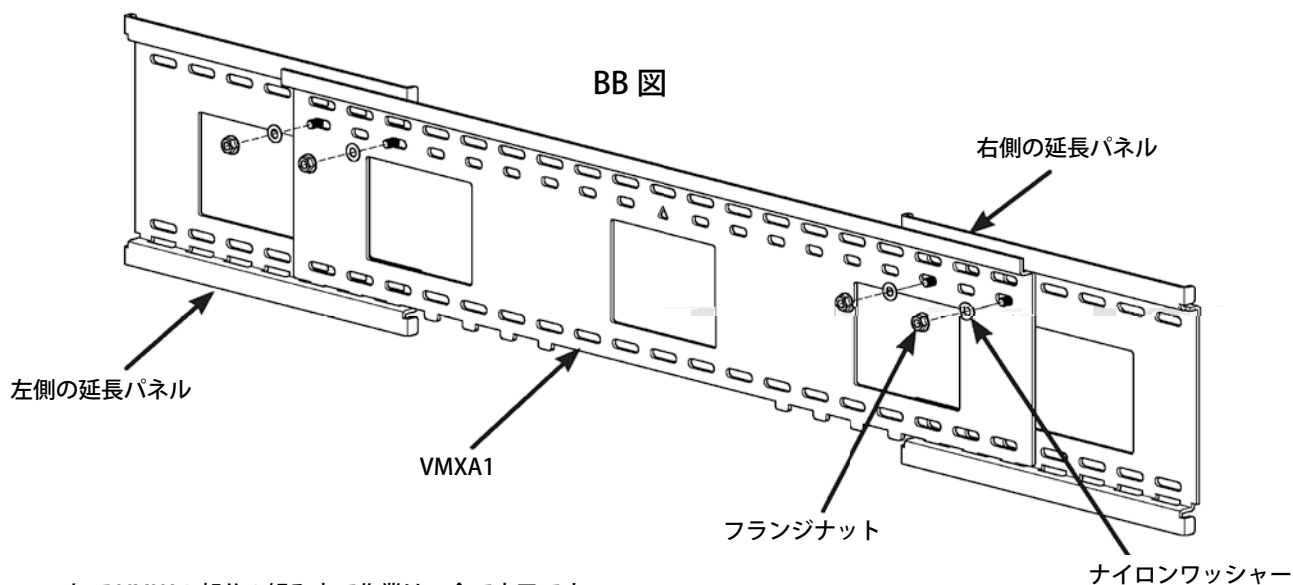


VMXA1 の組み立て方法のつづき

4. AA 図の様に、壁掛け金具本体 (a) の左右の延長パネルから取り外します。VMPL3 に付属していた、標準の中央部パネルを取り外して、代わりに VMXA1 に取り替えます。
左右の延長パネルは、その両端がご希望の幅となるまで、左側と右側の両端を等しく拡げて、VMXA1 に取り付けます。
安全確保の為、VMXA1 の 4 本のネジ付き止め具は、全て中央パネル真ん中の列の穴に通します。
中央パネルの下部にある歯状の部分、VMXA1 の左右の延長パネルのスロットに、はめ込みます。
延長パネルに付いている 4 本のネジ付き止め具が、中央パネルの真ん中の列の穴にピッタリと填まっていることを確認して



5. BB 図の様に、先程取り外したフランジナットとナイロンワッシャーを使い、左右の延長パネルを VMXA1 にしっかりと固定します。



これで VMXA1 部分の組み立て作業は、全て完了です。

引き続き、9 項の「壁掛け金具本体の壁面への取り付け」に戻って、VMPL3 の組み立てを続けてください。

SANUS | SYSTEMS

お問い合わせ、ご購入は営業窓口へ

Sanus Systems 輸入総代理店・発売元 ネットワークジャパン株式会社

〒559-0012 大阪市住之江区東加賀屋 2-8-12 Tel: 06-6686-6355 Fax: 06-6681-5734

E-mail: info@network-jpn.com

URL: <http://www.network-jpn.com/sanus/>